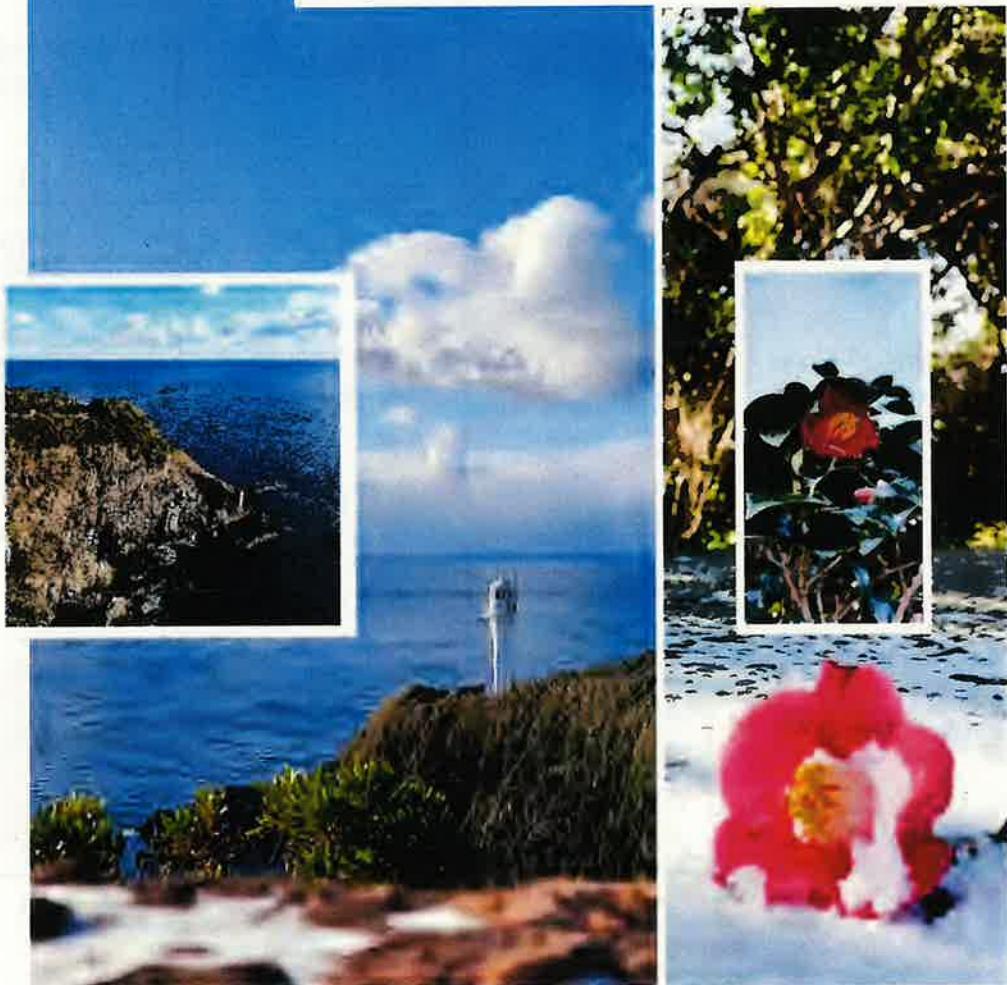




仁淀建設有限会社
2021.7.1~2022.6.30

環境経営レポート



エコアクション21
認証番号0007257

contents

1 対象範囲 (認証・登録範囲) レポートの対象期間 及び発行日 p1	2 基本理念・ 環境経営方針 p2	3 組織の概要 p3	4 環境管理体制と役割 p4
5 全体概要 p5~p6	6 環境経営目標 p7	7 環境経営計画 p8~p9	8 環境目標の実績・ 総合評価 p10~p11
9 環境取組計画の取組 結果とその評価、 今後の取り組み内容 p12~p24	10 次年度環境経営目標 p25	11 次年度環境経営計画 p26~p27	12 環境関連法規などの 遵守状況の確認及び 評価の結果、 並びに違反、 訴訟などの有無 p28
13 代表者による全体評 価と見直し・指示 p29	特集 環境活動報告	によど新聞 あしづりみさきっこ ガイド（足摺岬小 5.6年生）による観 光案内をご紹介しま す😊	



<https://www.facebook.com/ashizuriniyodo>



<https://www.instagram.com/ashizuriniyodo?r=nametag>



撮影場所/足摺岬、松尾周辺 撮影者/永野友香
COVER



対象範囲（認証・登録範囲）、
レポートの対象期間及び発行日

◎対象事業所

仁淀建設有限会社

(本社) 〒787-0315

高知県土佐清水市足摺岬902番地

◎対象事業活動

(事業内容)

道路改良・河川工事を含む土木工
事業

(建設業許可)

土木工事業 とび・土工事業

鋼構造物工事業 築装工事業 石工事業

しゅんせつ工事業 造園工事業

水道施設工事業 建築工事業 管工事業

◎環境経営レポート対象期間

令和3年7月1日～

令和4年6月30日

◎環境経営レポート発行日

令和5年3月1日

◎次回環境経営レポート

発行予定日

令和5年9月頃

2

基本理念・環境経営方針

仁淀建設有限会社 代表取締役 永野秋夫
平成29年8月3日作成 令和3年7月1日改訂

基本理念

私たち仁淀建設は、豊かな地球環境を未来の世代に、引き継ぐために、社会インフラとしての土木工作物の提供を通じ、環境負荷の低減を意識し、自然との調和を図り、地球環境活動に積極的かつ継続的に取り組みます。社員一人ひとりが地球環境を守り、安全・安心で快適な地域社会づくりと「持続可能な社会」の実現に貢献するとともに、効率的な事業を行うための技術向上とイノベーション創出を目指します。

環境経営方針

1.次の事項に取り組みます

- (1) 電力・化石燃料使用量を抑制し、二酸化炭素排出量を削減します。
- (2) 資源の有効活用、廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進します。
- (3) 廃棄物排出量を削減し再資源化の拡大を図ります。
- (4) 節水を意識し、水使用量を削減します。
- (5) 建設資材・消耗品のグリーン購入を推進します。
- (6) 5Sを徹底し、社内環境改善を図ります。
- (7) 環境に配慮した工事を推進します。
- (8) ICT技術による生産性の向上を目指します。

2.環境関連法規制や当社が定めた事項を遵守します。

3.環境保全活動において地域社会との協調連携を図り、地域貢献活動を推進します。

4.全従業員に環境経営方針・目標を周知し、意識の向上を図ります。

5.環境経営レポートなど環境情報については、広く外部に公表します。



3

組織の概要

●事業所名及び代表者名

仁淀建設有限会社 代表取締役 永野 秋夫

●所在地

本社 〒787-0315 高知県土佐清水市足摺岬902番地

●環境管理責任者・担当者名

- ・環境管理責任者 永野 和也
- ・担当者 永野 友香

●連絡先 TEL 0880-88-0781

FAX 0880-88-0076

E-mail nydks@mocha.ocn.ne.jp

●事業活動

<建設業> 事業内容（道路改良・河川工事を含む土木工事）

土木工事業 とび・土工工事業 石工事業 鋼構造物工事業

舗装工事業 しゅんせつ工事業 造園工事業 水道施設工事業

建築工事業 管工事業

●建設業許可

・高知県知事 許可（特-4）第1181号

令和4年4月12日から令和9年4月11日まで

土木工事業 とび・土工工事業 石工事業

鋼構造物工事業 舗装工事業 しゅんせつ工事業

塗装工事業 造園工事業 水道施設工事業

解体工事業

・高知県知事 許可（般-4）第1181号

令和4年4月12日から令和9年4月11日まで

建築工事業 左官工事業 管工事業

タイル・れんが・ブロック工事業

●事業規模

・法人設立年月日 昭和24年12月22日

・資本金 2,000万円

・売上高 189百万円（令和3年度）

・従業員数 8人

●事業年度 7月～6月

区分	単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度
売上高	百万円	81	68	189
従業員数	人	9	8	8
床面積（事務所）			72	
床面積（倉庫）			112	
資材置場面積			2500	



4

環境管理体制と 役割・責任・権限



代表取締役

- ・環境経営に関する統括責任者
- ・環境経営の実施及び管理に必要な経営資源（人・物・資金）の準備
- ・環境管理責任者の任命
- ・環境経営方針の設定・見直し・評価及び従業員への伝達
- ・環境経営目標、環境経営計画の承認
- ・環境経営レポートの承認

環境管理責任者

- ・環境関連法規制などの取りまとめ、遵守状況の確認
- ・環境経営システムの構築・実施・管理の継続的改善
- ・環境経営システムの運用、活動状況を代表者へ報告
- ・環境経営目標の設定、環境経営計画、実施体制の確認
- ・環境経営の取組状況の確認、環境経営目標の達成状況の評価
- ・問題点の是正及び予防処置の承認、緊急事態の想定と対応策の承認
- ・環境経営レポートの確認

事務局

- ・環境管理責任者の補佐
- ・環境関連文書、記録の管理
- ・環境経営レポートの作成、公開
- ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口

倉庫・資材置場責任者

- ・倉庫・資材置場における火災の防止その他倉庫の施設の管理
- ・倉庫・資材置場管理業務の適正な運営の確保
- ・倉庫・資材置場における灾害の防止
- ・倉庫・資材置場業務を円滑に進めるための従業員研修の企画、実施

工事現場責任者

- ・現場での環境経営の推進
- ・現場における環境経営方針の周知
- ・現場の従業員に対する教育訓練の実施
- ・現場の環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告
- ・現場での緊急事態への対応、手順書作成・テスト・訓練・記録
- ・現場の問題点の発見・是正・予防処置

全従業員

- ・環境経営方針を理解し、自らの役割を自覚して環境経営目標へ取組む
- ・環境経営目標（一般・産業廃棄物の分別、省電力、エコドライブ等）の実施
- ・環境経営への積極的な参加

5

環境経営への取組の全体概要

わたしたちは、2017年版「エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境への負荷の自己チェックを行い、環境目標の達成状況を評価し、改善に努めています。

休憩時間のこまめな消灯、空調の適温化（夏：28°C 冬：20°C）

電気使用量 など節電意識はしっかりとあり、実行できているが、事務所でのデスクワークが多くなったことで電気使用量も増え、今年度も目標達成できなかった。

ガソリン使用量 前年度より使用量は減ったが、目標達成できなかった。

使用車両台数が多く、遠方現場への行き来が目標未達成の要因であると考えます。

軽油使用量 重機のエコモード運転、無駄のない操作で軽油使用量は目標達成。重機仕事は多かったが、ICT技術の活用、社員全員の意識向上でいい結果に繋がり、嬉しく思います。

水使用量 今年度は未達成。日常的に節水を心掛け、こまめな止水、ため洗い、工事現場では、現場内の湧水を利用し、飲水や掃除も行ったが、それ以上に使用量が多かったという結果となった。

地域貢献活動 今年度もロードボランティア10回実施。会社周辺の清掃はもちろん、足摺岬公園線の清掃活動、現場周辺の定期的な清掃も積極的に行いました。

環境配慮工事 お通路さん休憩所の設置、トイレ貸し出し等のおもてなし実施。トイレは快適トイレで清潔感があり、女性にも安心して使用してもらえるようにしました。

SDGs取り組み概要

わたしたちが貢献できる目標

社会…



仁淀建設が取り組む
3つのマテリアリティ

①持続可能な経済(まちづくり)

経済…



ICT導入による生産性向上

環境…



②持続可能な社会(ヒトづくり)

労働環境の改善と健康経営

総合…



③持続可能な地球環境
(未来づくり)

資源の環境利用と環境負荷低減



事業を通じた社会問題解決



↑こうちSDGs推進企業として
登録されました。

マテリアルバランス

INPUT

電力	10,561 kWh	ペットボトル・紙類	0.6 kg
化石燃料	25,596 L	コンクリート モルタル	501.4 m ³
水	244 m ³	砂・碎石	63.8 m ³

事
業
活
動



OUTOUT

CO ₂ 排出量	70,191 kg-CO ₂	一般廃棄物	342 kg
		産業廃棄物	239 t
排水	244 m ³	その他	騒音・振動・粉じん・ 濁水

6 環境経営目標

環境目標	単位	基準年	単年度目標	中長期目標		
		5年平均	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		H26.7～R1.6	R3.7～R4.6	R4.7～R5.6	R5.7～R6.6	R6.7～R7.6
1.二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	77,903	75,566 (-3%)	74,787 (-4%)	74,008 (-5%)	73,229 (-6%)
2.電気使用量の削減	kWh	9,815	9,521 (-3%)	9,422 (-4%)	9,324 (-5%)	9,226 (-6%)
3.ガソリン使用量の削減	L	6,057	5,875 (-3%)	5,815 (-4%)	5,754 (-5%)	5,694 (-6%)
4.軽油使用量の削減	L	22,556	21,879 (-3%)	21,654 (-4%)	21,428 (-5%)	21,203 (-6%)
5.灯油使用量の削減	L	268	260 (-3%)	257 (-4%)	255 (-5%)	252 (-6%)
6.一般廃棄物排出量	kg	453	439 (-3%)	435 (-4%)	430 (-5%)	426 (-6%)
7.産業廃棄物排出量	t	413	401 (-3%)	396 (-4%)	392 (-5%)	388 (-6%)
8.産業廃棄物再資源化率	%	100	100	100	100	100
9.水使用量の削減	m ³	238	231 (-3%)	228 (-4%)	226 (-5%)	224 (-6%)
10.グリーン購入の推進	%	55	70	75	80	85
11.地域社会貢献活動の推進	清掃活動実施回数	10	10	10	10	10
12.環境配慮工事の推進	件数	全件	全件	全件	全件	全件
13.ICT技術による生産性の向上	件数	0件	1件	1件	1件	1件

※1 二酸化炭素排出係数（四国電力2021年）0.569kg-CO₂/kWh

※2 グリーン購入量は、製品購入金額に対する環境製品の購入金額の割合で評価

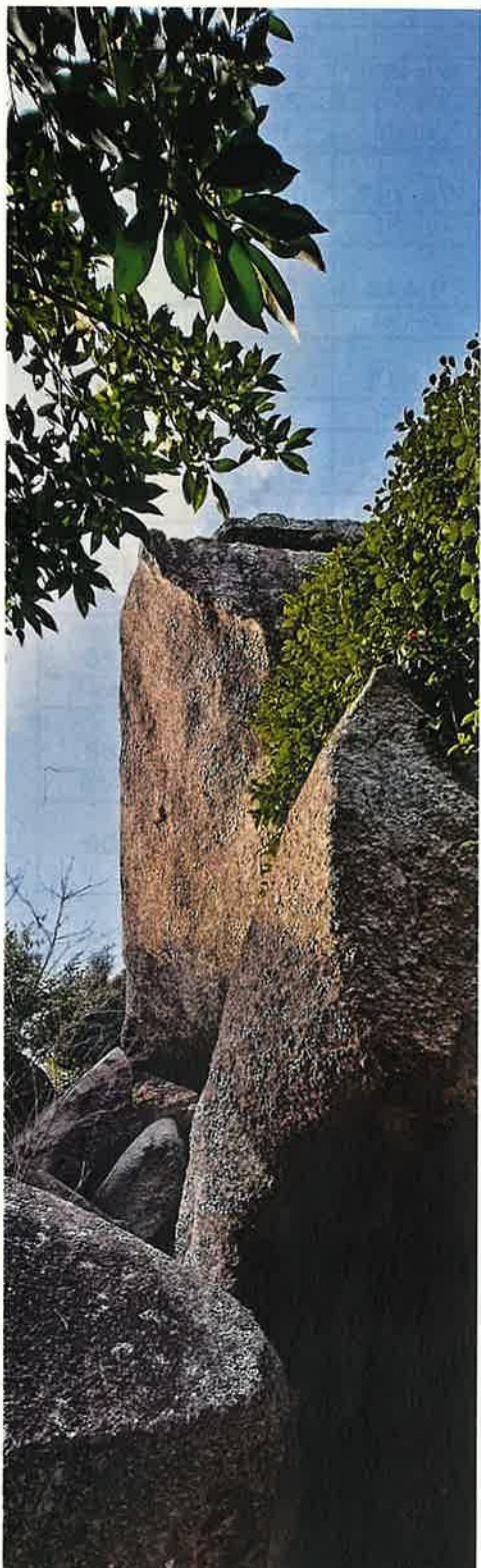
※3 環境配慮工事・・・環境負荷の少ない仕様及び工法の採用、建設機械等は低騒音・低振動・排ガス対策型機種を選定、型枠・工事看板への間伐材の使用、安心と信頼の公共工事の実施

※4 ICT技術による生産性の向上・・・作業効率の向上、施工日数の短縮・働き方改革の推進

※5 各年度の対象期間は決算年度7月～翌年6月、基準年度は5年平均（H26年度～R1年度）とする

7

環境経営計画



①電気使用量の削減

- ・パソコン、OA機器を省電力化設定にする
- ・夜間・休日のパソコン、コピー機の主電源停止
- ・こまめな消灯・こまめな空調停止、LED照明の利用
- ・空調機器・照明器具の定期清掃と点検、修理
- ・空調の適温化（夏28°C・冬18°C）、扇風機の併用
- ・クールビズ・ウォームビズの徹底

★節電パトロール実施

②化石燃料使用量の削減（ガソリン・軽油・灯油）

- ・タイヤの空気圧の確認、車輛管理（オイル交換）
- ・アイドリングストップとエコドライブの徹底
- ・急発進・急加速・急ブレーキをしない
安全運転の励行
- ・夏場のエアコン使用を控めめにする
- ・冬季重ね着工夫の励行、作業環境改善
- ・燃費状況の確認、見える化

★電気自動車へ買い替え検討

③一般廃棄物排出量の削減

- ・文書類の電子化
- ・裏紙利用の徹底と印刷時の
プレビュー機能利用の周知
- ・コピー用紙の使い分けの徹底
- ・ゴミ分別徹底とリサイクルの励行
- ・マイバッグ・マイボトルの推進

④水使用量の削減

- ・水を出しすぎないように吐水量を少なくして使う
- ・水は出しっぱなしにせず、こまめに止める
- ・食器はため洗いし、洗剤も使いすぎない
- ・トイレは大小洗浄の切り替えをきちんと使い分ける

⑤グリーン購入の推進

- ・エコマーク等、
環境に配慮した製品の積極的購入
- ・エコ商品への代替調査（比較検討）

⑥地域社会貢献活動の推進

- ・足摺岬公園線の清掃活動
(歩道清掃、瓶・カン拾い)
- ・会社周辺の清掃（除草、清掃）
- ・地域ボランティア活動への参加
- ・コロナウイルス感染症対策の徹底

備考：★印は今年度追加活動です

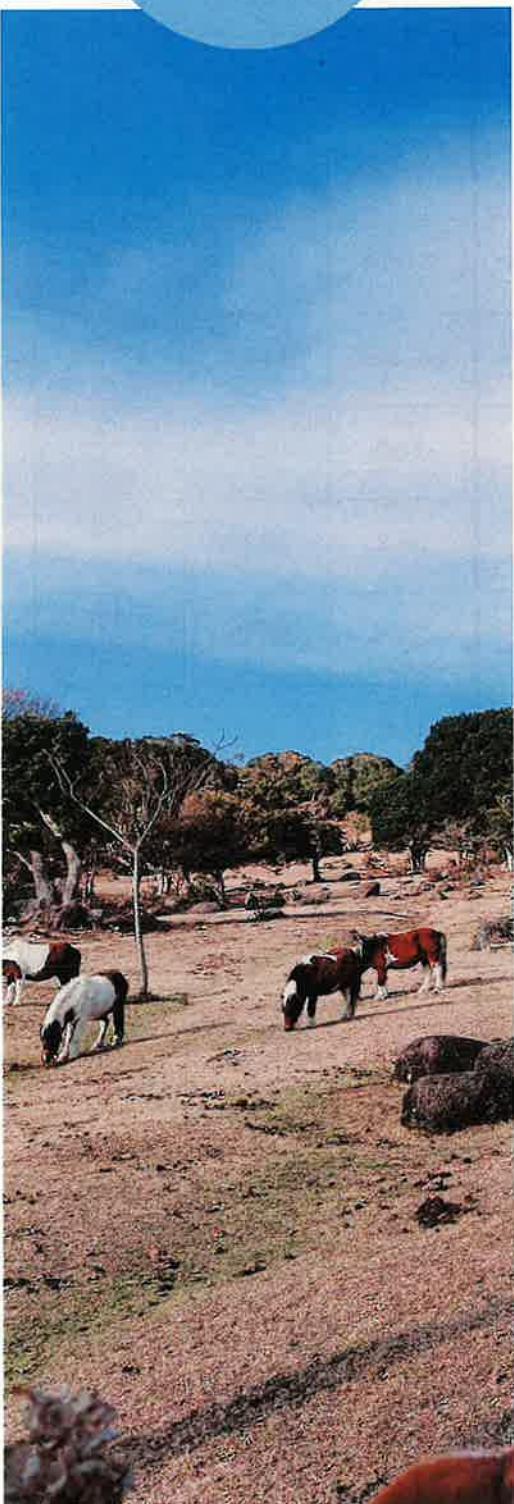
ecoaction21 report

NIYODO 8

現場

ecoaction

担当：永野和也
永野友香



①化石燃料使用量の削減（ガソリン・軽油・灯油）

- ・タイヤの空気圧の確認、車輌管理（オイル交換）
- ・アイドリングストップとエコドライブの徹底
- ・夏場のエアコン使用を控えめにする
- ・冬季重ね着工夫の励行、作業環境改善
- ・過積載の防止、車輌の中に不要な荷物は積まない
- ・社用車使用時の乗り合わせの励行
- ・急発進・急加速の回避、エンジンブレーキ利用
- ・重機の定期整備、日常点検の徹底
- ・重機のエコモード運転と効率的な空中動作
- ・移動ルートの効率化と燃費チェックの習慣化

②産業廃棄物排出量の削減

- ・マニフェストの管理、保管、適正処理の確認
- ・分別解体の徹底による再生資源化
- ・工事資材のロスをなくす

③水使用量の削減

- ・節水の周知徹底と啓発活動
(ポスター作成・貼付)
- ・蛇口の閉め忘れチェックと
漏水の定期点検
- ・手洗い水量の適正化
- ・工事用に自然水（河川水等）利用
- ・洗車はバケツや高圧洗浄機を利用

④地域社会貢献活動の推進

- ・足摺岬公園線の清掃活動
(遊歩道清掃、瓶カン拾い)
- ・会社周辺の清掃（除草、清掃）
- ・地域ボランティア活動への参加
- ・コロナウイルス感染症対策の徹底

⑤環境配慮工事の推進

- ・工事施工場所の周辺環境の状況把握
- ・環境負荷の少ない仕様
(材料・構造) 及び工法を採用する
- ・建設機械等は低騒音・低振動・
排ガス対策型機種を選定する
- ・型枠・工事看板への間伐材の使用
- ・安心と信頼の公共工事の実施

⑥ICT技術による生産性の向上

- ・作業効率の向上、施工日数の短縮
- ・働き方改革の推進

8

環境経営目標の実績



環境目標	単位	基準年	令和3年度 (7月～6月)		達成率 (%)	点数
		5年平均				
		H26.7～ R1.6	目標	実績		
1.二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	77,903	75,566	70,191	107%	2点 ○
			(-3%)			
2.電気使用量の削減	kWh	9,815	9,521	10,561	90%	1点 △
			(-3%)			
3.ガソリン使用量の削減	L	6,057	5,875	7,078	83%	0点 ×
			(-3%)			
4.軽油使用量の削減	L	22,556	21,879	18,358	119%	2点 ○
			(-3%)			
5.灯油使用量の削減	L	268	260	160	163%	2点 ○
			(-3%)			
6.一般廃棄物排出量	kg	453	439	342	128%	2点 ○
			(-3%)			
7.産業廃棄物排出量	t	413	401	239	168%	2点 ○
			(-3%)			
8.産業廃棄物再資源化率	%	100	100	100	100%	2点 ○
9.水使用量の削減	m ³	238	231	244	95%	1点 △
			(-3%)			
10.グリーン購入の推進	%	55	70	70	100%	2点 ○
11.地域社会貢献活動の推進	清掃活動実施回数	10	10	10	100%	2点 ○
12.環境配慮工事の推進	件数	全件	全件	全件	100%	2点 ○
13.ICT技術による生産性の向上	件数	0件	1件	1件	100%	2点 ○

※1. 達成率 = 目標/実績 × 100%、目標比率 = 実績/目標 × 100%

★総合評価 ※2. 評価 : ○達成2点 (100%～)

△不十分1点 (90%～100%)、×未達成0点 (~90%)

※3. 総合計が合計の80%以上で合格

達成率 85%

合計点数 22点

※1 二酸化炭素排出係数 (四国電力2021年) 0.569kg-CO₂/kWh

※2 グリーン購入量は、製品購入金額に対する環境製品の購入金額の割合で評価

※3 環境配慮工事・・・環境負荷の少ない仕様及び工法の採用、建設機械等は低騒音・低振動・排ガス対策型機種を選定、型枠・工事看板への間伐材の使用、安心と信頼の公共工事の実施

※4 ICT技術による生産性の向上・・・作業効率の向上、施工日数の短縮・働き方改革の推進

※5 各年度の対象期間は決算年度7月～翌年6月、基準年度は5年平均 (H26年度～R1年度) とする

〈総合評価〉

取組内容

評価（結果と今後の方向）

1. 二酸化炭素の排出量の削減

目標達成率108%で排出量を削減することができた。ICT技術を導入し施工していることで軽油使用量を抑えることができていることが達成の要因だと考えます。次年度も継続したい。

2. 電力使用量の削減

昨年度に引き続き、目標未達成。個々の心掛けはできているが、デスクワークの増加で電気、エアコン使用も二部屋分なので、達成率90%という結果になった。目標達成に向け工夫したい。

3. ガソリン使用量の削減

前年度より使用量は抑えることができたが、目標達成にはならなかった。社用車が増え、使用台数も多かった事が未達成の原因だと考えます。エコドライブ、引き続き継続していきます。

4. 軽油使用量の削減

軽油使用量は目標達成。重機使用率は多かったが、無駄のない動作とエコモード運転が達成につながったと考えます。ICT技術をもっと活用し、次年度も達成できるよう努めます。

5. 灯油使用量の削減

目標達成。前年度より使用率も減少。エアコンとサーメタルーラー併用、寒い日の重ね着工夫、作業環境の改善で達成率163%を取ることができました。次年度も積極的に継続していきます。

6. 一般廃棄物排出量の削減

マイバック、マイボトルの浸透で会社内のゴミが減り、目標達成。前年度より削減率もよくなり嬉しく思います。一人一人の小さな心掛けでこんなにも変わるので実感しました。

7. 産業廃棄物排出量の削減

工事内容に影響されますが、目標達成率168%で達成。前年度より排出量は増加していますが、基準値に対しても削減できます。今後も排出量の削減に取り組み、継続していきたい。

8. 産業廃棄物再資源化率

建設現場で伐採した木くずを節約屋で活用継続。今後も資源の有効利用に努め、削減活動の周知徹底と見直し、徹底した分別で達成率100%を継続していきます。

9. 水使用量の削減

目標達成率95%で未達成。基準値よりも使用量が多くなった。日常的に節水を心掛け、工事現場でも現場内の湧水を利用し、散水や掃除に使っていました。もう一度見直し、達成に繋げたい。

10. グリーン購入の推進

詰め替え商品や、eco容器の物を積極的に購入、使用しました。今年度も目標100%で達成。グリーンマークの文具等使用することで、心もエコモードになりエコ活動が楽しくなります。

11. 地域貢献活動の推進

毎年継続して参加している市内一斉清掃、現場周辺の清掃活動、ボランティア活動は今年度も積極的に行いました。小学校の防災教育活動にも協力し、改めて防災活動の大切さを感じました。

12. 環境配慮工事の推進

工事周辺の環境を考えた環境負荷の少ない仕様（材料・構造等）及び工法を採用し、周辺環境に影響を及ぼすことのない施工を心掛けました。今後ももちろん継続していきます。

13. ICT技術による生産性の向上

ICTを活用した現場では施工日数の短縮による生産性の向上が見られ、働き方改革の推進として完全週休二日制も継続、ノー残業デーもつくり、社員の心のゆとりとOFFを大事にしました。



9

環境経営計画の取組結果とその評価、今後の取組内容



電気使用量の削減

取り組み内容	達成○ 未達成×	評価（結果と今後の方向）
・パソコン、OA機器を省電力化設定にする	○	省エネモードを活用。今後も継続していく。
・夜間・休日のパソコン、コピー機の主電源停止	○	社員全員で心掛けている。継続します。
・こまめな消灯・こまめな空調停止、LED照明の利用	○	社員全員で心掛けている。継続します。
・空調機器・照明器具の定期清掃と点検、修理	○	定期的なチェックと心掛けを続けていきます。
・空調の適温化（設定温度：夏28°C冬20°C）、扇風機の併用	○	設定温度遵守。サーモスタットで暖房効率も上げました。
・クールビズ・ウォームビズの徹底	○	今後もクールビズ・ウォームビズ運動を継続して取り組みます。
★節電パトロール実施	○	実施しました。継続します。

備考:★は今年度追加活動です





化石燃料使用量の削減 (事務所)

取り組み内容	達成○ 未達成×	評価（結果と今後の方向）
・タイヤの空気圧の確認、車両管理（オイル交換）	○	社員全員で心掛けている。継続します。
・アイドリングストップとエコドライブの徹底	○	社員全員で心掛けている。継続します。
・急発進・急加速・急ブレーキをしない安全運転の励行	○	社員全員で心掛けている。継続します。
・夏場のエアコン使用を控えめにする	○	社員全員で心掛けている。継続します。
・冬季重ね着工夫の励行、作業環境改善	○	設定温度遵守。サーモスタットで暖房効率も上げました。ヒートテック着用者が多数。
・燃料状況の確認、見える化	○	定期的なチェックと心掛けを続けていきます。
★電気自動車へ買い替え検討	○	前向きに検討中。

備考:★は今年度追加活動です

月別の灯油使用量



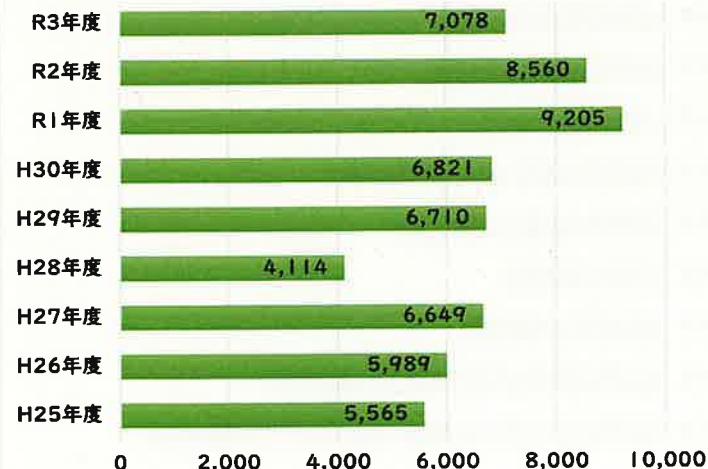
月別のガソリン使用量



灯油使用量の推移



ガソリン使用量の推移





化石燃料使用量の削減 (現場)

取り組み内容	達成○ 未達成×	評価 (結果と今後の方向)
・タイヤの空気圧の確認、車両管理	○	定期的なチェックと心掛けを続けていきます。
・アイドリングストップとエコドライブの徹底	○	運転状況の見える化を実施。今後も引き続きエコ運転に努める。
・夏場のエアコン使用を控えめにする	○	社員全員で心掛けている。継続します。
・冬季重ね着工夫の励行、作業環境改善	○	個々にとても工夫している。継続しています。
・過積載の防止、車両の中に不要な荷物は積まない	○	定期的なチェックと心掛けを続けていきます。
・社用車使用時の乗り合わせの励行	○	感染予防に努めながら無理なく継続。
・急発進・急加速の回避、エンジンブレーキ利用	○	社員全員で心掛けている。継続します。
・重機の定期整備、日常点検の徹底	○	定期的なチェックと心掛けを続けていきます。
・重機のエコモード運転と効率的な空中動作	○	エンジン回転数を上げない取組実施。油圧リリーフの回避、効率的な空中動作で作業効率向上。
・移動ルートの効率化と燃費チェックの習慣化	○	移動ルートの検討・比較、運転状況の見える化も実施。継続していく。

備考:★は今年度追加活動です

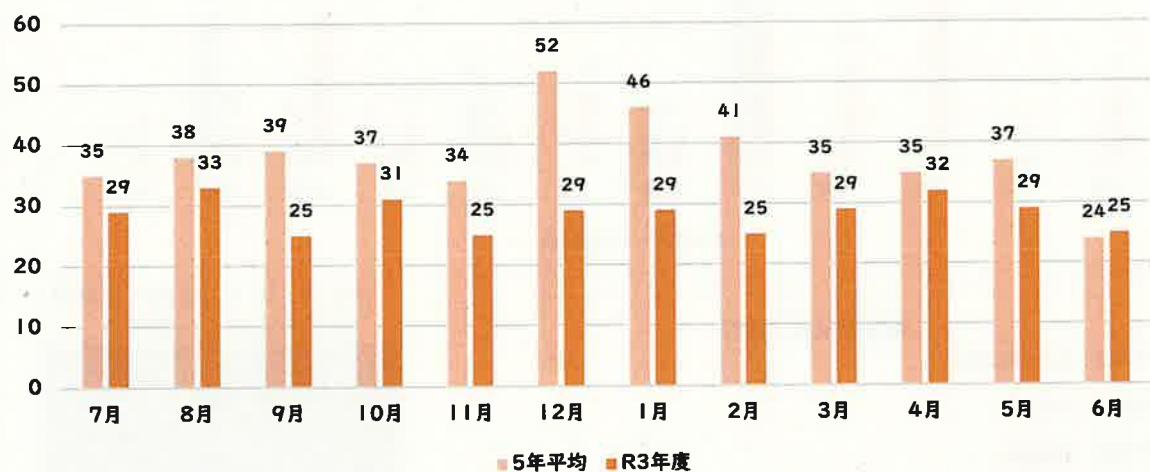




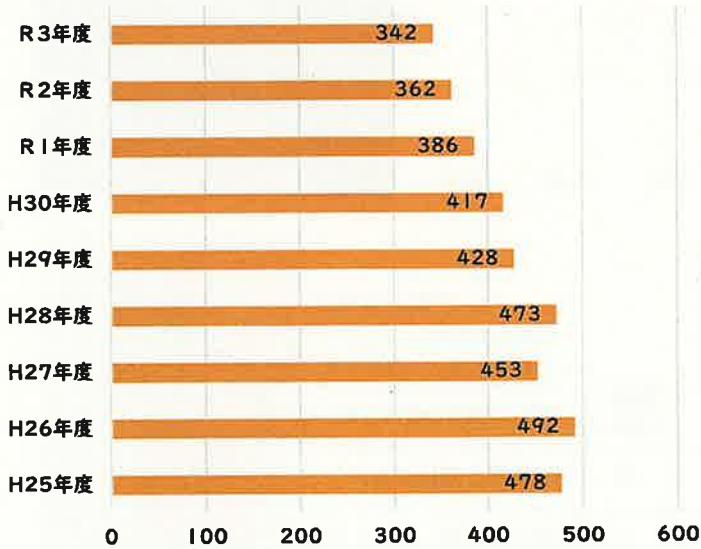
一般廃棄物排出量の削減

取り組み内容(事務所)	達成○ 未達成×	評価（結果と今後の方向）
・文書類の電子化	○	オフィスメール、従業員グループラインを有効活用。今後もペーパーレス化に取り組みます。
・裏紙利用の徹底と印刷時のプレビュー機能利用の周知	○	裏面積極的利用、両面印刷促進。継続していきます。
・ゴミ分別リサイクルの励行	○	完全実施。今後も分別徹底を継続していきます。
・コピー用紙の使い分けの徹底	○	リサイクル用紙使用。B6用紙活用とともに今後も継続していきます。
・マイバック・マイボトルの推進	○	積極的活用。今後も継続していきます。

月別的一般廃棄物量



一般廃棄物の推移



マイボトル、エコパックが浸透し、職場のゴミが減りました。

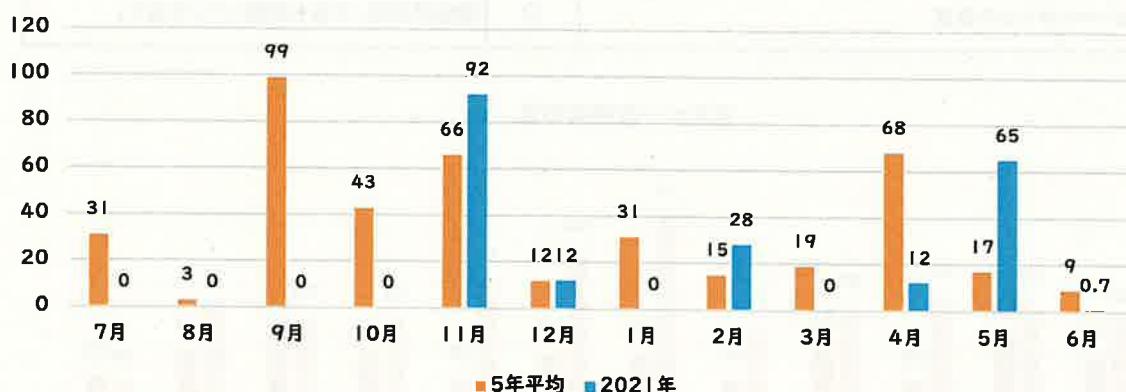


産業廃棄物排出量の削減

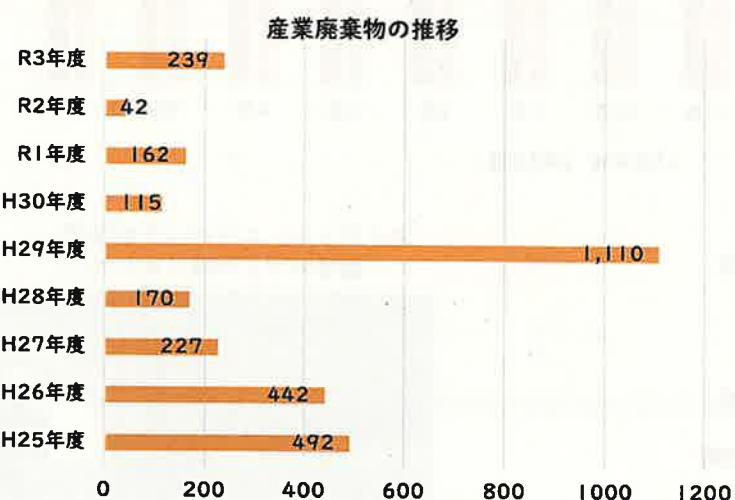


取り組み内容(現場)	達成○ 未達成×	評価(結果と今後の方向)
・マニフェストの管理、保管、適正処理の確認	○	完全実施しています。継続。
・分別解体の徹底による再生資源化	○	再資源化率102%。継続していきます。
・工事資材のロスをなくす	○	木材の再利用(リユース)促進。継続する。

月別の産業廃棄物量



マニフェストの管理・保管◎
再資源化率も100%です。



グリーン購入の推進



グリーンマーク製品使用で
心もエコモードになり、
エコ活動が楽しくなります。

取り組み内容	達成○ 未達成×	評価(結果と今後の方向)
・エコマーク等、環境に配慮した製品の積極的購入	○	完全実施。継続する。
・エコ商品への代替調査(比較検討)	○	定期的に実施。継続する。



水使用量の削減

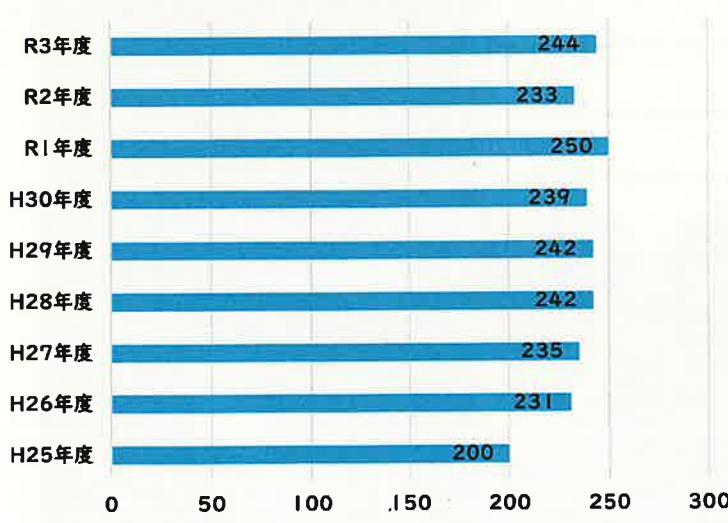


取り組み内容	達成○ 未達成×	評価（結果と今後の方針）
・水を出しすぎないように吐水量を少なくして使う	○	日常的に節水を心掛けている。継続。
・水は出しっぱなしにせず、こまめに止める	○	日常的に節水を心掛けている。継続。
・食器はため洗いし、洗剤も使いすぎない	○	日常的に節水を心掛けている。継続。
・トイレは大小洗浄の切り替えをきちんと使い分ける	○	日常的に節水を心掛けている。継続。
・節水の周知徹底と啓発活動（ポスター作成・貼付）	○	意識向上できている。継続。
・蛇口の閉め忘れチェックと漏水の定期点検	○	チェックOK、定期点検も実施。継続。
・手洗い水量の適正化	○	日常的に節水を心掛けている。継続。
・工事用に自然水（河川水等）利用	○	散水に自然水利用。継続。
・洗車はバケツや高圧洗浄機を利用	○	高圧洗浄機での洗車実施。継続。

月別の水使用量



水使用量の推移



現場内の湧水を使い、
掃除や散水、養生等行いました。



地域貢献活動の推進



スケジュール		実施件数	評価
7月	ロードボランティア、清掃活動	1回	○
8月	ロードボランティア、清掃活動	1回	○
9月	ロードボランティア、清掃活動	1回	○
10月	ロードボランティア、清掃活動	1回	○
11月	ロードボランティア、清掃活動	1回	○
12月	ロードボランティア、清掃活動	1回	○
1月	足摺岬公園線 冬季パトロール強化、清掃活動	1回	○
2月		1回	○
3月	ロードボランティア、清掃活動	1回	○
4月	地域ボランティア活動、清掃活動	1回	○
5月	ロードボランティア、清掃活動	1回	○
6月	ロードボランティア、清掃活動	1回	○



環境経営目標	評価
・足摺岬公園線の清掃活動（遊歩道清掃、瓶・カン拾い）	○
・会社周辺の清掃（除草、清掃）	○
・地域ボランティア活動への参加	○
・コロナウイルス感染症対策の徹底	○



環境配慮工事の推進



・工事施工場所の周辺環境の状況把握	評価 ○	・環境負荷の少ない仕様(材料・構造・工法)を採用する	評価 ○
区長さんと現場開始前の打ち合わせ			現場内の湧水を利用し、生コンクリートを打設し終わった後、コンクリート表面に水を撒く、散水養生を行いました
・型枠・工事看板への間伐材の使用	評価 ○		・建設機械等は低騒音・低振動・排ガス対策型機種を選定する
廃材を利用しトイレの目隠し等を作成			
・安心と信頼の公共工事の実施	評価 ○		環境負荷の少ない、低騒音・低振動・排ガス対策型機種を選定し購入、エコモード運転も心掛けています
騒音レベルを調べ、防音シートを張りました			

ICT技術による生産性の向上



評価

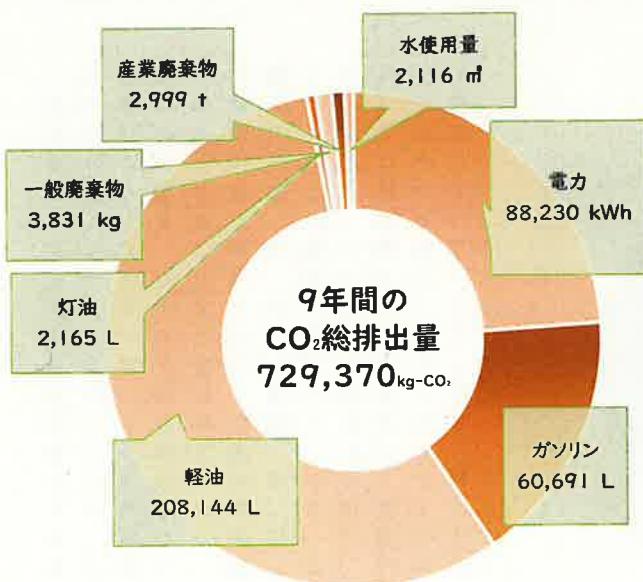
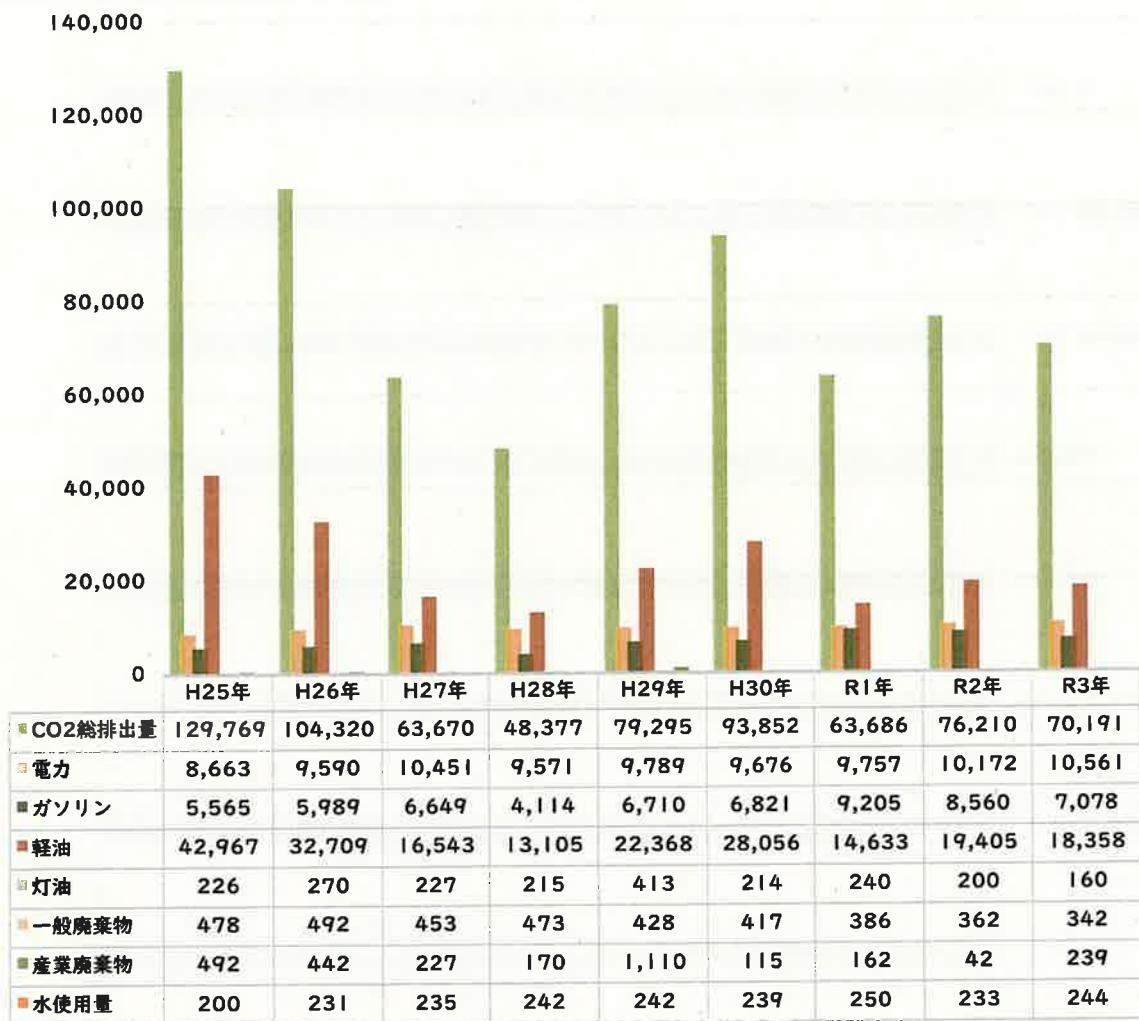
- ・作業効率の向上、施工日数の短縮
- ・働き方改革の推進

ICT建設機械を導入したことにより、現場の施工性が向上しました。丁張設置等をほぼ無くすことができ、現場施工の省力化になり、従来工法で施工した場合と比較して工期短縮できるメリットが生かせ、工程管理の面からも優れた技術であることを実感できました。現場技術者の負担も軽減され、熟練オペレータと同等な施工ができることで若手活躍の場が広がり、担い手確保に繋がっています。



CO₂総排出量の推移

ecoaction21 report
NIYODO 21

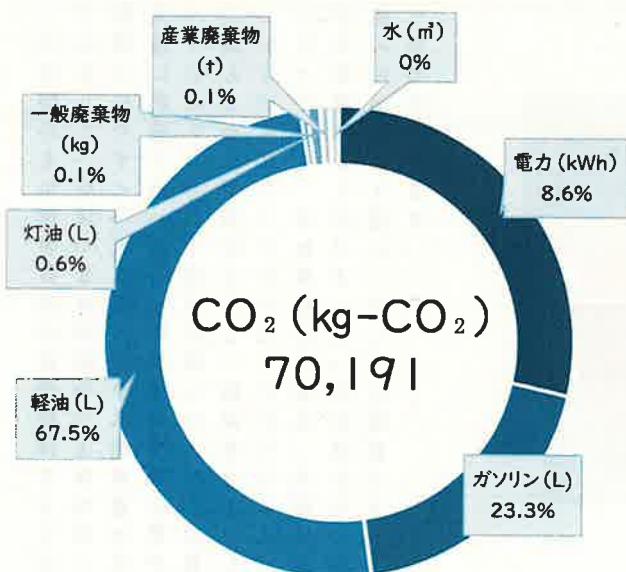
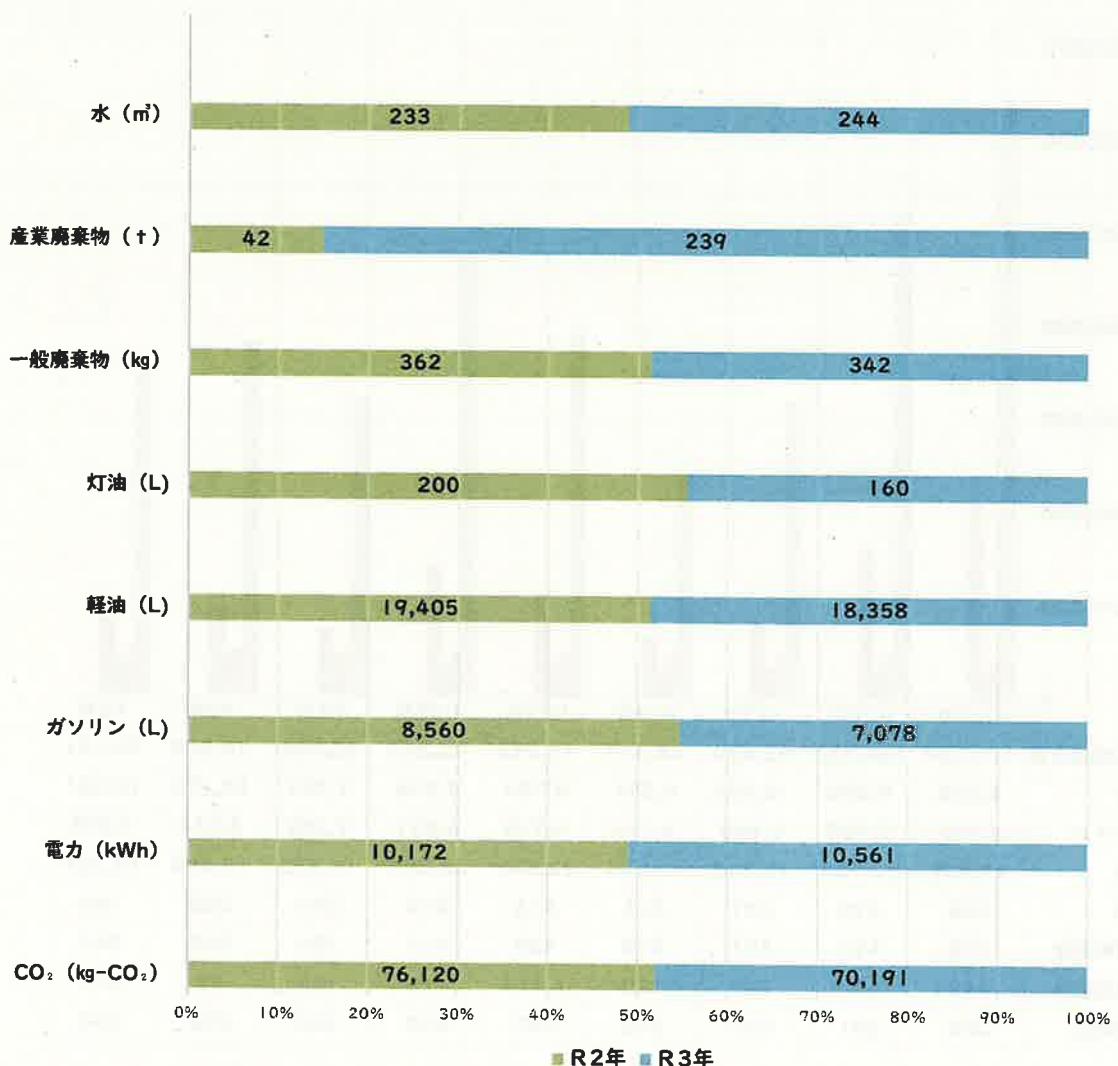


九年間の主な環境負荷の変遷推移をまとめました。軽油や産業廃棄物は工事内容に影響されやすく、電気使用量や水使用量は外気温に影響され、CO₂排出量の増減に繋がっています。ＩＣＴ技術の導入により、作業人数も少なくて済むことで、技術者さんはしつかりデスクワークをすることができるようになりましたので、本社事務所の電気、水使用量が今年度は多くなりました。次年度からの取組み内容を考え直し、少しでも改善できるよう努めていきます。

前年比

*使用量、排出量の比較です。

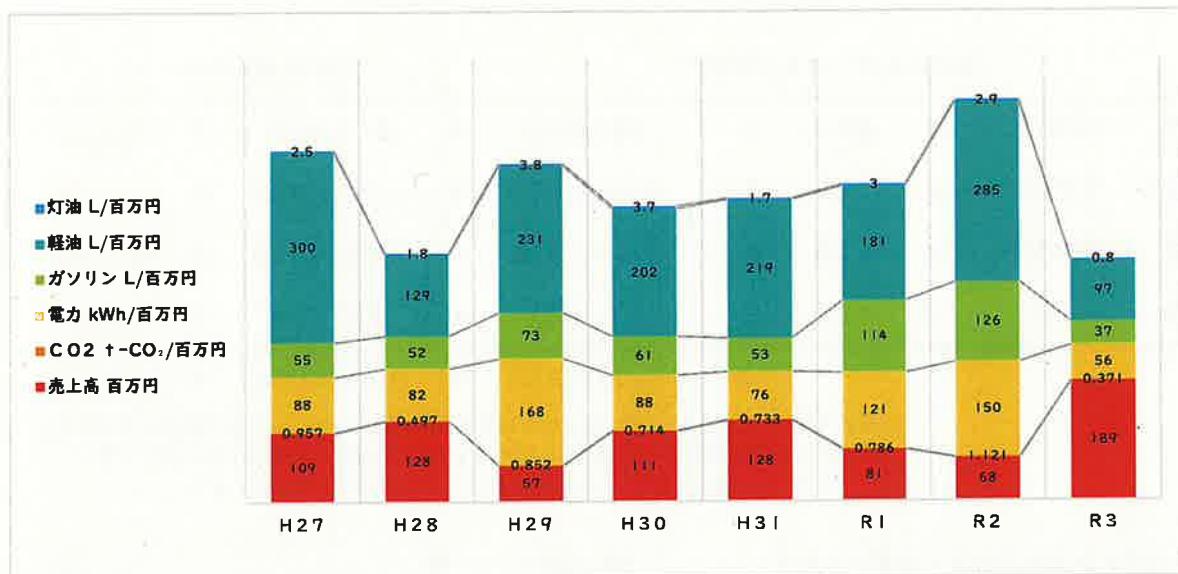
ecoaction21 report
NIYODO 22



今年度は、産業廃棄物排出量が前年度よりかなり多くなっています。これは、工事内容によるものです。ガソリン使用量は現場への移動等、社用車使用台数は多かつたものの前年度より使用量は抑えられた。灯油使用量が減ったのは、冬場の環境改善服装の見直し等、個々が意識し取り組んでくれたことが結果に繋がっています。またマイボトル、マイバック持参が浸透し、個人ゴミは持ち帰ってくれるので、職場内のゴミがグッと減り、嬉しく思います。今後も継続していき、CO₂削減に繋げます。

売上高百万円あたりの原単位の推移

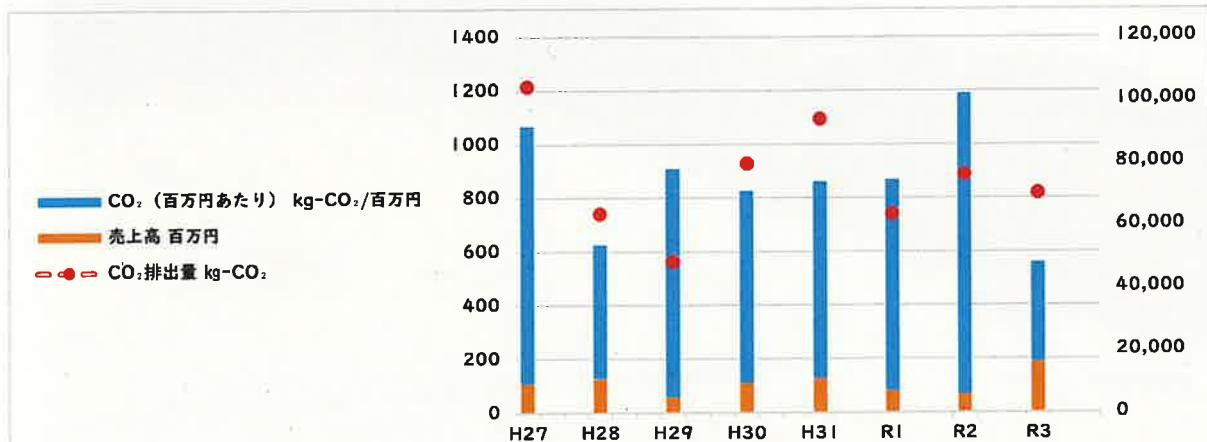
環境に配慮した取り組みは余計なコストが発生する印象を持たれるかもしれません、
仁淀建設は、環境活動の結果、令和3年に平成27年以降最高の最高益を記録し、
環境配慮（社会貢献）と経済的効率を両立させました。



(項目)	H27	H28	H29	H30	H31	R1	R2	R3
売上高 百万円	109	128	57	111	128	81	68	189
CO2 t-CO2/百万円	0.957	0.497	0.852	0.714	0.733	0.786	1.121	0.371
電力 kWh/百万円	88	82	168	88	76	121	150	56
ガソリン L/百万円	55	52	73	61	53	114	126	37
軽油 L/百万円	300	129	231	202	219	181	285	97
灯油 L/百万円	2.5	1.8	3.8	3.7	1.7	3	2.9	0.8

CO₂排出量の実績推移

CO₂排出量は過去3番目だが、CO₂排出原単位が過去8年間の中で
1番低い結果となり、嬉しく思います。工事内容にもよりますが、個々の
意識が高くなり、自然と環境に配慮できる行動ができることが結果
に繋がったのだと感じています。維持し続けていきたいです。



	H27	H28	H29	H30	H31	R1	R2	R3
売上高 百万円	109	128	57	111	128	81	68	189
CO ₂ 排出量 kg-CO ₂	104,320	63,670	48,377	79,295	93,851	63,687	76,210	70,191
CO ₂ (百万円あたり) kg-CO ₂ /百万円	957	497	852	714	733	786	1121	371

カーボンプライシング

2021年7月～2022年6月

◎エネルギーコスト概算							◎3%削減したら・・・		
電気	10561	kWh	×	30.4	円 =	321,054	円	311,422	円 <u>-9,632</u>
ガソリン	7078	L	×	165	円 =	1,167,870	円	1,132,834	円 <u>-35,036</u>
軽油	18358	L	×	116	円 =	2,129,528	円	2,065,642	円 <u>-63,886</u>
灯油	160	L	×	130	円 =	20,800	円	20,176	円 <u>-624</u>
					合計	3,639,252	円	3,530,074	円 <u>-109,178</u>

※当該年度を基準とし、CO₂排出量3%削減した場合、約11万円の節約となります。

※電力は四国電力の2022年6月時点での1kWhあたりの単価(30.4円)です。

※ガソリン、軽油、灯油も2026年6月時点での単価で計算しています。

☆CO₂の1トン当たりのエネルギーコスト 52,138 円

◎3%削減したら・・・ 50,574 円 -1,564

※1トン当たりの値段 = エネルギーコスト合計÷CO₂ (69.8トン)

※当該年度を基準とし、CO₂排出量3%削減した場合、約2千円の節約となります。

☆売上高に占めるエネルギー費用の割合 (1.93%)

※年間エネルギーコスト=概算:約364万円



10

次年度環境経営目標

環境目標	単位	基準年	単年度目標	中長期目標		
		5年平均	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		H26.7～R1.6	R4.7～R5.6	R5.7～R6.6	R6.7～R7.6	R7.6～R8.7
1.二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	77,903	74,787 (-4%)	74,008 (-5%)	73,229 (-6%)	72,450 (-7%)
2.電気使用量の削減	kWh	9,815	9,422 (-4%)	9,324 (-5%)	9,226 (-6%)	9,128 (-7%)
3.ガソリン使用量の削減	L	6,057	5,815 (-4%)	5,754 (-5%)	5,694 (-6%)	5,633 (-7%)
4.軽油使用量の削減	L	22,556	21,654 (-4%)	21,428 (-5%)	21,203 (-6%)	20,977 (-7%)
5.灯油使用量の削減	L	268	257 (-4%)	255 (-5%)	252 (-6%)	249 (-7%)
6.一般廃棄物排出量	kg	453	435 (-4%)	430 (-5%)	426 (-6%)	421 (-7%)
7.産業廃棄物排出量	t	413	396 (-4%)	392 (-5%)	388 (-6%)	384 (-7%)
8.産業廃棄物再資源化率	%	100	100	100	100	100
9.水使用量の削減	m ³	238	228 (-4%)	226 (-5%)	224 (-6%)	221 (-7%)
10.グリーン購入の推進	%	55	75	80	85	85
11.地域社会貢献活動の推進	清掃活動実施回数	10	10	10	10	10
12.環境配慮工事の推進	件数	全件	全件	全件	全件	全件
13.ICT技術による生産性の向上	件数	0件	1件	1件	1件	1件

※1 二酸化炭素排出係数（四国電力2021年）0.569kg-CO₂/kWh

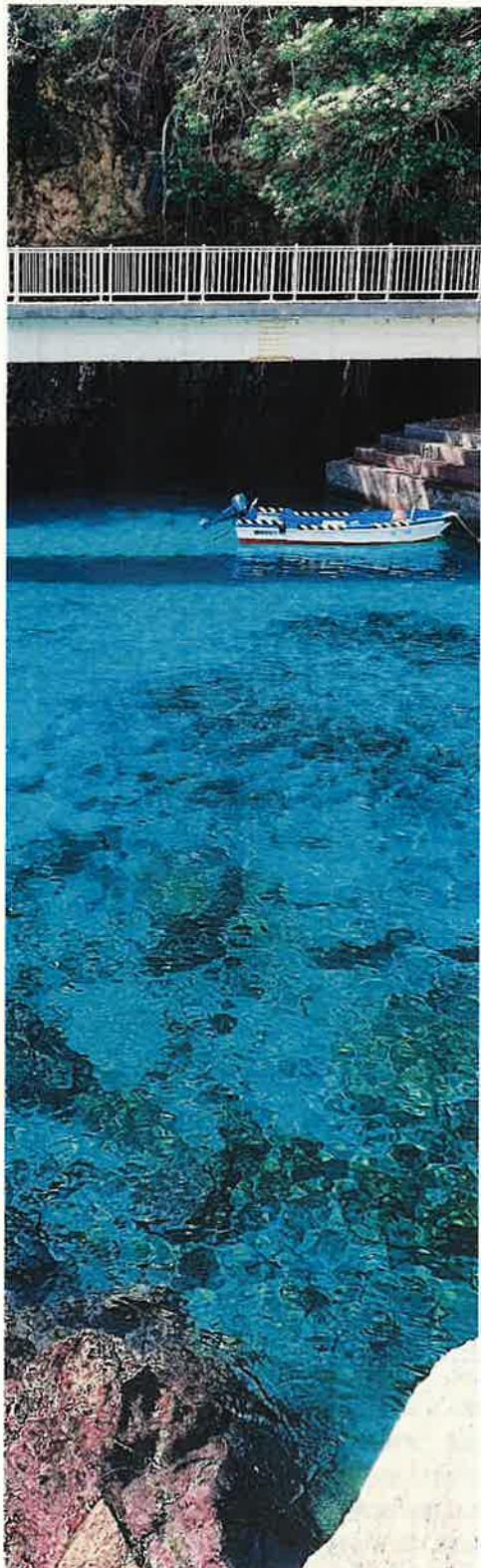
※2 グリーン購入量は、製品購入金額に対する環境製品の購入金額の割合で評価

※3 環境配慮工事・・・環境負荷の少ない仕様及び工法の採用、建設機械等は低騒音・低振動・排ガス対策型機種を選定、型枠・工事看板への間伐材の使用、安心と信頼の公共工事の実施

※4 ICT技術による生産性の向上・・・作業効率の向上、施工日数の短縮・働き方改革の推進

※5 各年度の対象期間は決算年度7月～翌年6月、基準年度は5年平均（H26年度～R1年度）とする

次年度 環境経営計画



①電気使用量の削減

- ・パソコン、OA機器を省電力化設定にする
- ・夜間・休日のパソコン、コピー機の主電源停止
- ・こまめな消灯・こまめな空調停止、LED照明の利用
- ・空調機器・照明器具の定期清掃と点検、修理
- ・空調の適温化（夏28°C・冬18°C）、扇風機の併用
- ・クールビズ・ウォームビズの徹底
- ・節電パトロール実施

②化石燃料使用量の削減（ガソリン・軽油・灯油）

- ・タイヤの空気圧の確認、車両管理（オイル交換）
- ・アイドリングストップとエコドライブの徹底
- ・急発進・急加速・急ブレーキをしない
安全運転の励行
- ・夏場のエアコン使用を控めにする
- ・冬季重ね着工夫の励行、作業環境改善
- ・燃費状況の確認、見える化
- ・電気自動車へ買い替え検討

③一般廃棄物排出量の削減

- ・文書類の電子化
- ・裏紙利用の徹底と印刷時の
プレビュー機能利用の周知
- ・コピー用紙の使い分けの徹底
- ・ゴミ分別徹底とリサイクルの励行
- ・マイバッグ・マイボトルの推進

④水使用量の削減

- ・水を出しすぎないように吐水量を少なくして使う
- ・水は出しっぱなしにせず、こまめに止める
- ・食器はため洗いし、洗剤も使いすぎない
- ・トイレは大小洗浄の切り替えをきちんと使い分ける

⑤グリーン購入の推進

- ・エコマーク等、
環境に配慮した製品の積極的購入
- ・エコ商品への代替調査（比較検討）

⑥地域社会貢献活動の推進

- ・足摺岬公園線の清掃活動
(遊歩道清掃、瓶・カン拾い)
- ・会社周辺の清掃（除草、清掃）
- ・地域ボランティア活動への参加
- ・コロナウイルス感染症対策の徹底

備考：★印は次年度追加活動です

ecoaction21 report

NIYODO 26

現場

ecoaction

担当：永野和也
永野友香



①化石燃料使用量の削減（ガソリン・軽油・灯油）

- ・タイヤの空気圧の確認、車輛管理（オイル交換）
 - ・アイドリングストップとエコドライブの徹底
 - ・夏場のエアコン使用を控えめにする
 - ・冬季重ね着工夫の励行、作業環境改善
 - ・過積載の防止、車輛の中に不要な荷物は積まない
 - ・社用車使用時の乗り合わせの励行
 - ・急発進・急加速の回避、エンジンブレーキ利用
 - ・移動ルートの効率化と燃費チェックの習慣化
 - ・重機の定期整備、日常点検の徹底
 - ・重機のエコモード運転と効率的な空中動作
- ★掘削を必要最低限にできる工法検討・導入の推進
- ★省エネルギー性能に優れた重機、車両の採用推進

②産業廃棄物排出量の削減

- ・マニフェストの管理、保管、適正処理の確認
- ・分別解体の徹底による再生資源化
- ・工事資材のロスをなくす

③水使用量の削減

- ・節水の周知徹底と啓発活動
(ポスター作成・貼付)
- ・蛇口の閉め忘れチェックと
漏水の定期点検
- ・手洗い水量の適正化
- ・工事用に自然水（河川水等）利用
- ・洗車はバケツや高圧洗浄機を利用

④地域社会貢献活動の推進

- ・足摺岬公園線の清掃活動
(遊歩道清掃、瓶カン拾い)
- ・会社周辺の清掃（除草、清掃）
- ・地域ボランティア活動への参加
- ・コロナウイルス感染症対策の徹底

⑤環境配慮工事の推進

- ・工事施工場所の周辺環境の状況把握
- ・環境負荷の少ない仕様
(材料・構造) 及び工法を採用する
- ・建設機械等は低騒音・低振動・
排ガス対策型機種を選定する
- ・型枠・工事看板への間伐材の使用
- ・安心と信頼の公共工事の実施

⑥ICT技術による生産性の向上

- ・作業効率の向上、施工日数の短縮
- ・働き方改革の推進

12

環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去2年間ありません。

作成日 令和3年7月1日 作成者 永野 友香
承認 永野 秋夫 黒査 永野 和也

法規制等の名称	適用内容・遵守事項	遵守状況
・廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・収集運搬業者及び処分業者との委託契約締結 ・委託契約書の保管 ・マニフェストの管理、保管（5年間） 	○
・建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者への計画説明と完了報告 ・分別解体 ・再生資源等の促進 ・再生資源の利用 	○
・建設廃棄物処理マニュアル	<ul style="list-style-type: none"> ・マニフェストに基づく適正処理の実施 	○
・建設副産物適正処理推進要綱	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者との連絡調整、管理及び施工体制の整備 ・実施状況の記録保管 	○
・排出ガス対策型建設機械普及促進規程	<ul style="list-style-type: none"> ・排出ガス対策型であることの確認 	○
・騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定建設作業の実施の届出 	○
・振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定建設作業の実施の届出 	○
・大気汚染防止法	<ul style="list-style-type: none"> ・第18条十五 特定粉じん排出等作業の開始日の14日前までに知事へ届け出る 	○
・フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・第5条 第一種特定製品 冷媒としてフロン類が充填されている機器の点検の実施、漏えい防止措置、漏えい量の報告、整備時の充填・回収委託、廃棄時のフロン回収の徹底 	3か月に 1回
・建設工事公衆災害防止対策要綱	<ul style="list-style-type: none"> ・付近住民等への周知 ・埋設物の確認 ・排水処理、地盤沈下等の処理 ・騒音防止の措置 	必要時
・消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・少量危険物の貯蔵取扱届出 	必要時
・浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ・設置等の届出 ・浄化槽管理の業務 ・定期点検 	年1回
・地球温暖化対策推進法	<ul style="list-style-type: none"> ・国、地方自治体、事業者、国民が一体となり温室効果ガスの排出抑制に努め、国・地方自治体の対策に協力する 	毎日
・高知県環境基本条例	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の責務 (公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理) 	必要時
・土佐清水市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> ・投棄の禁止 	必要時



13

代表者による全体評価と見直し・ 指示

見直し関連情報

項目	確認	トンメコ・協評
1 エコアクション21文書	レ	環境経営方針は、課題とチャンスを経営的視点で見直し、反映させた。
2 環境経営目標及び目標達成状況	レ	未達成のものは次年度積極的に取り組みたい。
3 環境経営計画及び取組実施状況	レ	全員参加で活動できました。
4 環境関連法規遵守状況	レ	違反、訴訟及び外部からの苦情・要望はありませんでした。
5 内部・外部コミュニケーション対応記録	レ	内部・外部コミュニケーションを実施しました。
6 問題点の是正・予防処置の実施状況	レ	是正処置を実施しました。
7 その他()	レ	ありません。

変更の必要性の判断

見直し項目	変更	「有」の場合の指示事項等
1 環境経営方針	無	変更ありません。
2 環境経営目標・計画	無	変更ありません。
3 環境経営計画・取組事項	有	次年度も活動計画を見直し、取組事項を更に充実させること。
4 実施体制	無	変更ありません。
5 環境経営システム	無	変更ありません。

総評 (代表取締役 永野 秋夫)

今年度は工事受注件数増加、工事利益増加により経営が改善され嬉しく思います。このチャンスを生かし、環境負荷低減に力を入れ、自然豊かなまちづくり、地球温暖化防止に貢献してまいります。エコアクション21も継続10年を迎えました。ご指導くださった先生方、ご支援いただいた皆様に感謝を申し上げます。

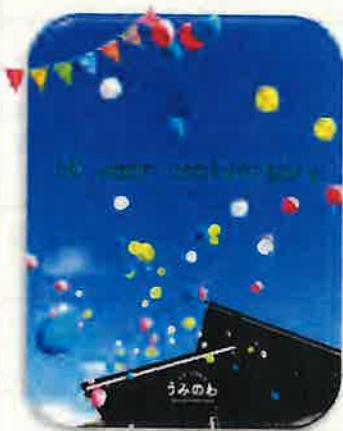
よど建設の安全

Construction Safety and Health

SDGs

2023.3

No. 1



特集1

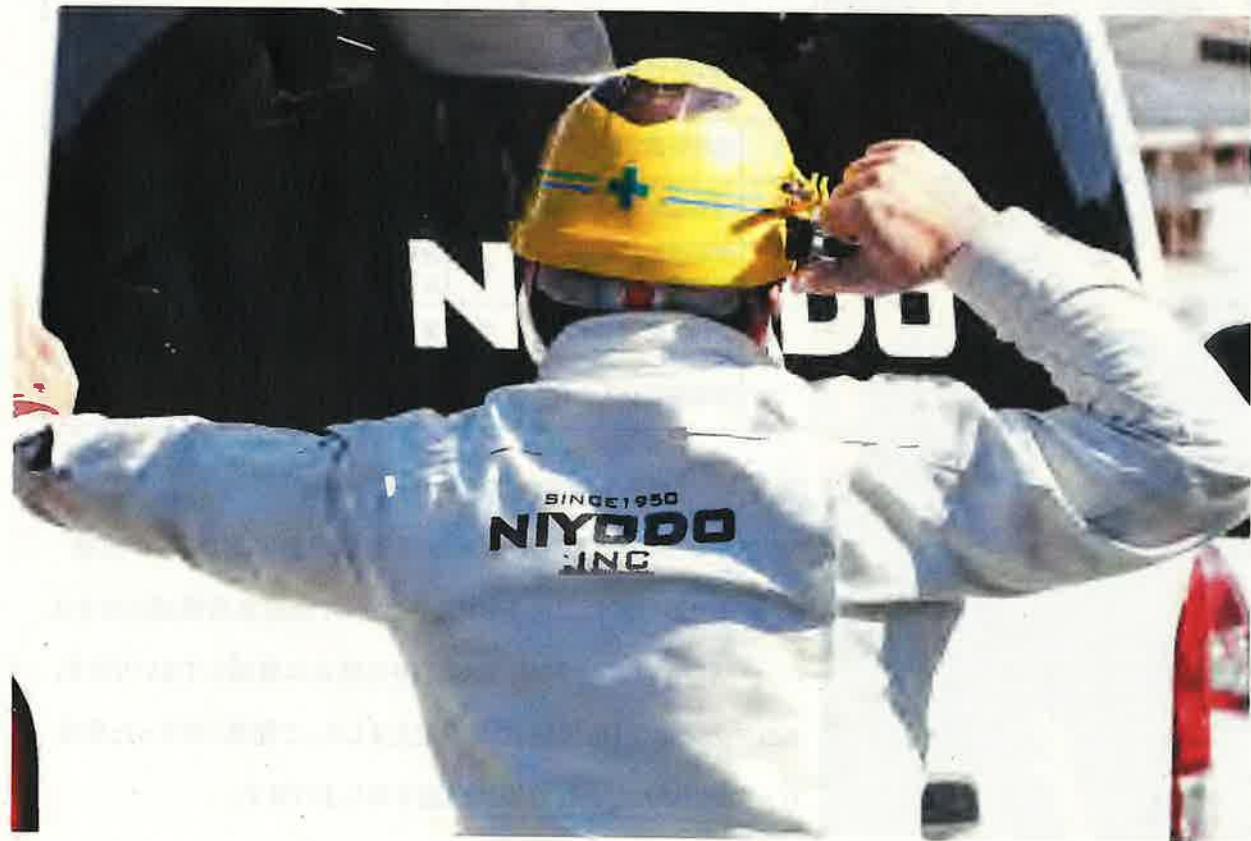
NIYODO'sサステナビリティ

特集2

SDGsへの取り組み

特集3

よど新聞2022



よど建設の安全 1

お遍路さん休憩所

NIYODO's サステナビリティ

四国88か所の寺院を巡るお遍路さん。
私たち仁淀建設は現場事務所設置とともに、必ず
お遍路さん休憩所も設置します。廃材を使い、
毎回色々な休憩所が出来上がる所以楽しいです。
トイレも開放し、コンセントや通路道案内地図も置き、
夏場はアイスやお茶、塩飴等のお接待もしています。
この取組はずっと続けていきたいと思います。



公衆トイレやコンビニ等が無い地域に設置することがほとんどなので、大変喜ばれています。

SDGsへの取組

地球のために、会社で今日から できること。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 安全を
なくさう



2 食糧を
安全に



3 すべての人に
健康と福祉を



4 各の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



6 安全な水とトイレ
を世界中に



全従業員の健康を推進するために年一回の健康診断受診、定期的なストレスチェックも実施し、快適な職場づくりを目指しています。

新入社員への教育を徹底し、一人一人の資質向上、将来的な人生設計の目標に繋げる資格取得支援を積極的に行います。

7 環境にやさしい
エネルギーを



8 働きがいも
経済成長も



9 生産と消費の革新の
基盤をつくりよう



10 人や国の不平等
をなくそう



11 経済持続可能な
都市と社区を



12 つくる責任
つかう責任



完全退休二日制を導入し、心の余裕ができて業務がスムーズになり、安全管理も徹底できています。

建設業を通じて、強靭なインフラを整備し、自然災害の多いこの地域の立ち直る力をつけていきたいと考えています。

大規模災害が発生した場合、建設会社には建物や道路を早急に復旧させる役割が求められます。そのためのBCPを策定し、毎年震災訓練を実施しています。

13 経営基盤に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



15 積極的とも
安らぎとも



16 平和と公正を
すべての人へ



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が目指す
「持続可能な開発目標」です

社員全員で節電、エコドライブに努め、建設現場で使用する機械は環境に配慮した低騒音・低振動・排ガス対策型機種を選定しています。

自然環境を考えた工法の採用や、建設副産物の再資源化や再生材の積極的な利用を促進しています。

県や自治体と災害時応急対策協定を締結し、災害時にに対応、協力できる体制を整えています。建設業協会等の協会活動にも積極的参加をしています。

によど新聞 2022

私たち仁淀建設は、

「地域を知って、現在に活かし、未来や行動を考える。」と地域学習に力をいれる足摺岬小学校の

防災学習や観光ガイドツアーに参加し、子供たちとともに、私たちのふるさとについて調べてみました。



↑あしづりみさきっこガイド
2022年度5.6年生



によど新聞 2022



←岬周辺では、竹の一種メダケが繁殖して椿を侵食しています。環境省や住民組織「足摺岬の自然を守る会」が2016年度に本格的な再生事業をスタートし、足摺岬小も参加し、採取した種から育てた苗を校庭で栽培し、苗木を植え戻す取組をしています。



夢藍の葉→

この葉に青色成分(インジゴ)がわざかに含まれています。昔は藍染に使

用したそうです。

藍染という伝統文化を

作った素晴らしい葉っぱです。

深い青色で「ジャパンブルー」

と呼ばれてたそうですよ。



次は松尾地区です！

松尾は足摺岬の隣町。ここにもたくさんの自然豊かな場所があります。日本で最初に黒潮が接岸する釣のメッカ白波えや、樹齢四百年を経過しているアコウの木など見どころがたくさんですよ。

唐人駄馬巨石群↑
頂上から見る景色は最高です。青の洞窟と呼ばれています。パワースポットとして有名です！近くにはキャンプ場もあります。

海老洞↑
綺麗で写真映えしますよ！夏は泳ぐこともできます♪

足摺岬
松尾
(Ashizuri & Mutsu)
観光防災リーフレット

大好きなふるさと

ようこそ!
わたくしらのふる
土佐清水市
足摺岬・松尾

〒779-0215
〒779-0215
足摺岬のふるさと
土佐清水市立図書館
TEL/FAX 0800-08-0001

きれいな海 美しい自然

足摺岬灯台

松尾

唐人駄馬

海老洞

白波えや

アコウの木

キャンプ場

海水浴場

温泉

宿泊施設

土産

お土産

笑顔つなぐ
明日をつくる
仁淀建設有限会社

to be continued

最後までご覧いただきありがとうございました。